

令和元年度

区民参画組織 麻布を語る会 第4回麻布地区政策分科会

議 事 要 旨

開催日時	令和元年 8 月 28 日（水） 18:30～20:30
開催場所	麻布地区総合支所 2階 第3会議室
参加者 (敬称略)	【分科会メンバー：24名】 大竹、岡本、鍵谷、加生、河又、北野、金原、小池、胡、古平、佐々木、佐藤、塩谷、城川、田中、堂園、橋本、藤本、堀山、峯崎、森田、唯是、吉野、吉松 【事務局：3名】 鈴木（協働推進課長）、板橋（地区政策担当係長）、遠藤（協働推進係） 【説明者：4名】 田代（管理係長）、中村（協働推進係長）、吉田（まちづくり課長）、川口（保健福祉係長）
概 要	1 開会 2 次期麻布地区版計画書の策定に向けたスケジュールについて 3 区民アンケート調査結果の概要について 4 グループ討議（各地域事業の課題・提言作成に向けた方向性のまとめ） 5 全体討議（グループ討議の報告及び意見交換） 6 その他
配付資料	資料 1 次期 港区基本計画・麻布地区版計画書策定に向けたスケジュール（案） 資料 2 港区基本計画・麻布地区版計画書 麻布地区の取組に関するアンケート調査 結果速報概要 資料 3 令和元年度 地域事業の推進について（地域事業の進捗と課題等） 参考資料 各地域事業についての主な意見
副座長	<p style="text-align: center;">【会議経過】</p> <p><b>1 開会</b></p> <p>定刻となりましたので、第4回区民参画組織麻布を語る会 麻布地区政策分科会を開催します。本日の終了予定時刻は20時30分を予定しております。この分科会活動に際し、記録のため、写真撮影や録音をさせていただきます。写真撮影に不都合がございましたら事務局の職員までお声がけください。また、会議中の発言は挙手、指名を原則とし、分科会の議題からそれた発言など議事進行の妨げとなる場合には、発言を制止することもあります。円滑な議事運営にご協力をお願いします。</p>
事務局	<p>はじめに、事務局から本日の配布資料の確認をいたします。 (配布資料の確認)</p>
副座長	<p><b>2 前回までの振り返りと本日の流れについて</b></p> <p>次第2「前回までの振り返りと本日の流れについて」、3「区民アンケート調査結果の概要について」は、いずれも事務局からの報告事項ですので、まとめて報告を受けた後に、質疑の時間を取りたいと思います。</p>
事務局	<p>資料1のスケジュール（案）について、支援部（企画課）のスケジュールに一部変更がありました。変更点は、支援部（企画課）の令和元年7月の庁</p>

議と令和2年5月の庁議の部分です。それぞれ「『次期港区基本計画策定への区民参画会議ガイド』作成」と「策定方針」に変更しました。「次期港区基本計画策定への区民参画会議ガイド」は、令和元年9月から始まる「みなとタウンフォーラム」でより効果的な議論ができるよう、参加者へ示します。策定方針は、区民参画による意見を反映させてつくることをより重視するため、みなとタウンフォーラム等の提言を踏まえ、区が目指す令和8年度末の将来像や取組の方向性を盛り込み、令和2年5月に作成します。

区の現状や社会動向（ガイド）については、麻布地区に関連する部分を、今後の分科会で必要に応じて情報提供します。

### 3 区民アンケート調査結果の概要について

事務局

区民アンケートは、区が麻布地区版計画書を策定する際の資料として活用することを目的に、麻布地区に住む18歳以上の1,500人を対象として、令和元年6月に実施しました。回収率は22.7%で、前回、平成28年度調査時と比べてかなり低くなっています。

地域事業の認知度と期待度の結果は、本日の資料3に掲載してありますが、その他の集計・分析結果については、後日ご報告いたします。

副座長

資料1及び資料2の説明について、質問等ございますか。

A委員

区民アンケート結果の報告はいつになりますか。

事務局

11月にアンケート結果の報告として、分科会に提示できる予定です。

A委員

アンケートの内容は、分科会に情報提供をしていただき、その上で早く結果を知りたい項目があった場合、それは早く集計結果を示して欲しいです。

事務局

本日も配りすることはできませんが、アンケートの内容を見ていただき、その中で気になる部分を事務局に伝えていただければ、わかる範囲で集計結果を提供します。

B委員

有効回収率が、前回調査と比べてかなり下がっていることについては、どのように考えていますか。

事務局

麻布地区の外国人比率にあわせて、外国人へのアンケート調査票配布数が増えたことが一つの要因かと考えます。アンケートの結果については、ご指摘の部分も含め、詳細についてはまだ精査していない部分もあるので、分析作業が進み次第、分科会でご報告します。

### 4 グループ討議（グループ討議の報告及び意見交換）

副座長

本日は、麻布地区の9つの地域事業の映像を準備してもらいましたので、皆さんで見ながら、グループ討議に移ります。

（各地域事業の動画等）

副座長

ありがとうございました。今後の討議のご参考にしていただければと思います。それでは、グループ討議に移ります。各グループでの議論終了時間は20時00分を目途に、時間になりましたら、こちらへお集まりください。各グループで出た意見を発表していただいて、全体で情報共有します。

「分野Ⅰ かがやくまち」「分野Ⅱ にぎわうまち」「分野Ⅲ はぐくむまち」の3グループに分かれ討議

## 5 全体討議（グループ討議の報告及び意見交換）

副座長

それでは、各グループの本日の検討結果を発表していただきます。分野Ⅰからお願いします。

B委員

分野Ⅰでは、「防犯・生活安全」「防災」「環境・エコ」の3点について色々と話し合いをしました。まず「防犯・生活安全」について、これから六本木を含む麻布地区は、ラグビーワールドカップや東京2020大会を控え、多くの外国人が訪れることが予想されます。また、夜は夜で、色々な地域から快楽・享楽を求めて、人が集まり酔っ払いが増えます。このような状況にも対応して「六本木安全安心憲章」が制定され、現在、「六本木安全安心プロジェクト」でルール違反ゼロの六本木を目指していろいろな活動をしていいますが、周知・啓発のために使用している「ゼロ」のマークに物足りなさを感じる。もっと誰にでも分かりやすいロゴにしたほうがいいのではないかという意見がありました。

「防災」については、検討が難しいと感じています。大災害への対応を考え、森ビルや東京ミッドタウン等も防災訓練を行い、麻布地区の総合防災訓練は毎年、六本木中学校で行われています。しかし、実際に地震が起きた時にどうなるのか、現状の対策、体制でいいのか、他の防災対策を検討すべきではないかとの意見が出ました。

「環境・エコ」については、「みんなでエコっとプロジェクト」では企業等と連携し自然観察等のイベントを行っていますが、六本木地区のごみ問題を扱ってみても良いのではないのでしょうか。早朝、飲食店が肉類を路上に捨てている汚さ、ゴミをカラスがつついたり、客引きがたばこをポイ捨てしたり、こういった地域の課題を子どもの頃から経験させ、環境・エコに関するモラルづくりをしたほうがいいのではないかという意見がありました。

C委員

分野Ⅱです。「ミナヨク」の事業目的は、次世代を担うリーダーの育成としていますが、その目的の検証ができていないこと、現状の1期限りのプログラムではリーダー育成まで至らないのではということ、この2点が課題として挙がりました。リーダーの育成、修了生への支援等の具体的な改善策を検討する必要がありますが、事業としては今後も継続していくべきではないかという意見が出ました。

「AZABU WORLD FESTA」は、街中を自由に散策しながら楽しめるイベントということで試行的に商店街等と連携したスタンプラリーを一定期間開催したそうですが、麻布地区にある店舗と連携したスタンプラリーは、店舗にとってデメリットも多いのではないか、「AZABU WORLD FESTA」という名称とスタンプラリーの組み合わせには違和感がある等、現状では色々な課題があります。これまで麻布地区との関係が少なかった人が麻布地区に触れる機会をつくるために、ある程度の期間を設けたイベントで、麻布にまつわる日本の文化や海外の文化をメインテーマにした取組を検討してはどうかという意見も出ました。また、この事業で実施している埼玉県の小鹿野町との交流については、本来「地方交流事業」として実施すべきところではないかと思います。

「麻布未来写真館」は地域事業として長く続いており、事業目的と事業内容が合致しているのではないかと思います。これまでの多くのパネル等の有効活用が望まれるところですが、観光ガイドでのパネルの活用や企業等への積極的なアプローチによるパネル貸出し等の意見が出ました。

A委員

分野Ⅲです。「麻布の魅力探訪事業」は、実際に部会の活動を見学し、こ

の事業は大丈夫だなど思える熱意を感じられました。ただ、内容や取り組み方に多少の偏りを感じるので、もう少し面白いアイデアを加えていく余地があるのではないかという意見になりました。

「ちょこっと立ち寄りカフェ」は非常に成功している取組です。参加者の男女比が1：9の状況を変えていくためには、男性が興味・関心を持つ歴史などをテーマに盛り込んでいくと、参加者の男女比も今までと違ってくるのではないかとの意見が出ました。「ちょこっと立ち寄りカフェ」と「麻布の魅力探訪事業」は連携すると可能性が大いにあるのではとの意見も出ました。

「地方交流事業」の取組は、参加した子供たちが非常に喜んでいるということで異論はありませんでした。ただ、埼玉県小鹿野町との交流事業は、「AZABU WORLD FESTA」の予算で実施されており、この事業の予算で実施されるべきですがそうではないそうです。

副座長 ありがとうございます。全体を通して、ご質問はありますでしょうか。ご質問等がないようでしたら、事務局からの連絡事項等をお伝えします。

## 5 その他

事務局 ①次回（第5回分科会）の日時及び内容の確認

- ・日時 9月12日（木）18：30から
- ・場所 麻布地区総合支所2階第3会議室
- ・内容：地域事業についての課題確認、事業改善について等

②直近の地域事業等

- ・予定が分かり次第、分科会メンバーへ随時情報提供していく

③港区オープンデータアプリコンテスト

- ・募集ちらしの説明

副座長 全体を通して、何かご意見、ご質問はございますか。

座長 次回、第5回分科会は何時までやりましょうか。今回は2時間という中で、グループ討議の時間を多く取ることができて、頭の整理もできたようですので、もし皆様の賛同が得られれば、次回も2時間で開催したいと思いますが、いかがでしょうか。

事務局 座長から、次回分科会も2時間で開催したいという提案がありましたが、何かご意見等はございますか。もしご異議がなければ、次回の第5回分科会も午後6時30分から8時30分まででご案内させていただきます。

（異議なし）

副座長 最後に、座長から一言お願いします。

座長 この分科会では、座長と副座長で司会進行、座長が6、7割、残りを副座長が行うということで、今回は副座長に進行をお願いしました。今後をお願いをすることになると思いますので、皆様も、分科会運営に是非ともご協力をお願いいたします。

副座長 その他、ご意見等がなければこれをもちまして、第4回麻布地区政策分科会を終了いたします。お忘れ物のないようご注意ください。

本日は、お疲れさまでした。

以上